

国際会議等各種会議の 北海道開催推進に係る取組

日本政府観光局(JNTO)
MICEプロモーション部

2021年6月

1. 日本政府観光局(JNTO)ご紹介
2. MICE政府目標とJNTOの取組
 - (1) 国際会議誘致・開催支援
 - (2) M&Iの誘致・開催支援
 - (3) MICEブランディング・キャンペーン事業(認知度向上)
3. 北海道へのMICE誘致に関する取り組み事例

1. 日本政府観光局(JNTO)とは?

組織概要

- 正式名称 : 独立行政法人国際観光振興機構 (国土交通省 観光庁所管)
※通称として「日本政府観光局」、略称としてJNTO (英文名称: Japan National Tourism Organizationの頭文字) を使用しています。
- 国内拠点 : 本部 (東京)
- 海外拠点 : 22事務所 (ソウル、北京、上海、広州、香港、バンコク、シンガポール、ジャカルタ、クアラルンプール、ハノイ、デリー、マニラ、シドニー、ロンドン、フランクフルト、パリ、ニューヨーク、ロサンゼルス、トロント、モスクワ、ローマ、マドリード)

JNTOの活動

JNTOは世界22都市に海外事務所を持ち、外国人の訪日旅行の促進に向けて、海外現地目線に立ったプロモーション、マーケティングを行っています。

<主な事業>

- 訪日旅行市場に関する市場分析・マーケティング
- 海外現地旅行会社の訪日ツアー企画・販売の促進
- 海外現地メディアを通じた広告・宣伝
- ウェブやSNSを通じた訪日観光の情報提供
- 国際会議 (MICE) の誘致・開催促進
- 受入環境整備・向上支援
(ビジット・ジャパン観光案内所の認定)

※政府観光局 (National Tourism Organization)とは : 外国人旅行者の誘致活動を行う政府機関



JNTOの海外事務所ネットワーク

ニューヨーク、ロンドン、パリ、ソウル、シンガポールにMICE専門スタッフを配置

国土交通省 (Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism)

観光庁
(Japan Tourism Agency)

日本政府観光局
(Japan National Tourism Organization)

「観光立国」に向けた総合的かつ計画的な取り組み

- 政策の策定
- 外国政府との協議や関係省庁との調整
- **MICEの戦略の策定**
(国際MICE競争力強化委員会、経済規模調査等)
- **民間事業者や自治体との連携体制の構築**
(グローバルMICE都市強化対策委員会等)
- 受入基盤の強化。魅力ある観光地づくりの支援

訪日プロモーションの実施主体/ 海外22事務所を設置

- ビジット・ジャパン事業：訪日旅行プロモーション
- ツーリストインフォメーションセンターの運営・認定
- 訪日外客数や海外市場動向の発信
- **国際会議等MICEのマーケティング、開催誘致支援、人材育成等**
- 全国通訳案内士試験事務の実施

日本政府観光局(JNTO)の組織・活動

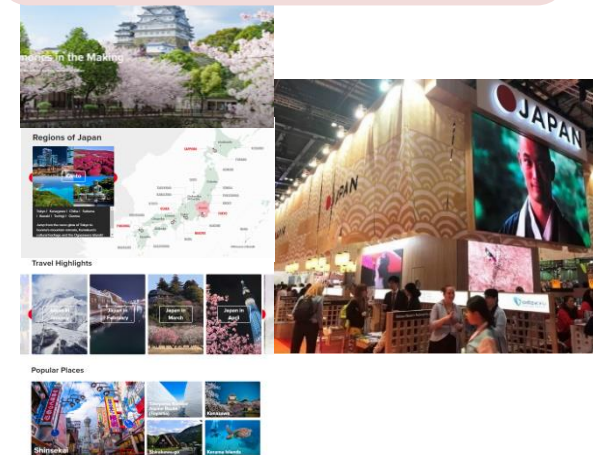
訪日旅行市場に関する
市場分析・マーケティング



海外現地旅行会社の
訪日ツアー企画・販売促進
(BtoBプロモーション)



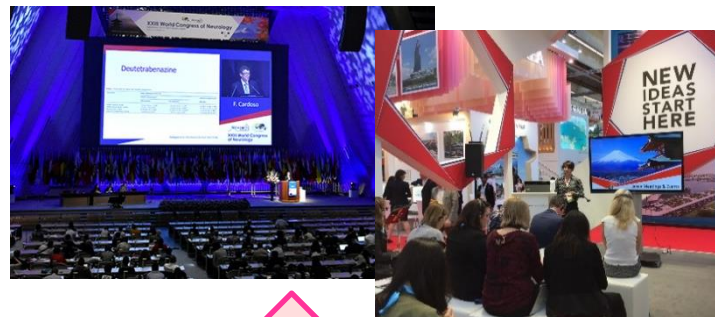
一般消費者向け
プロモーション・情報発信
(BtoCプロモーション)



国内事業パートナーとの連携



国際会議等(MICE)の
誘致・開催支援



受入環境整備・向上支援



2. MICEの政府目標等

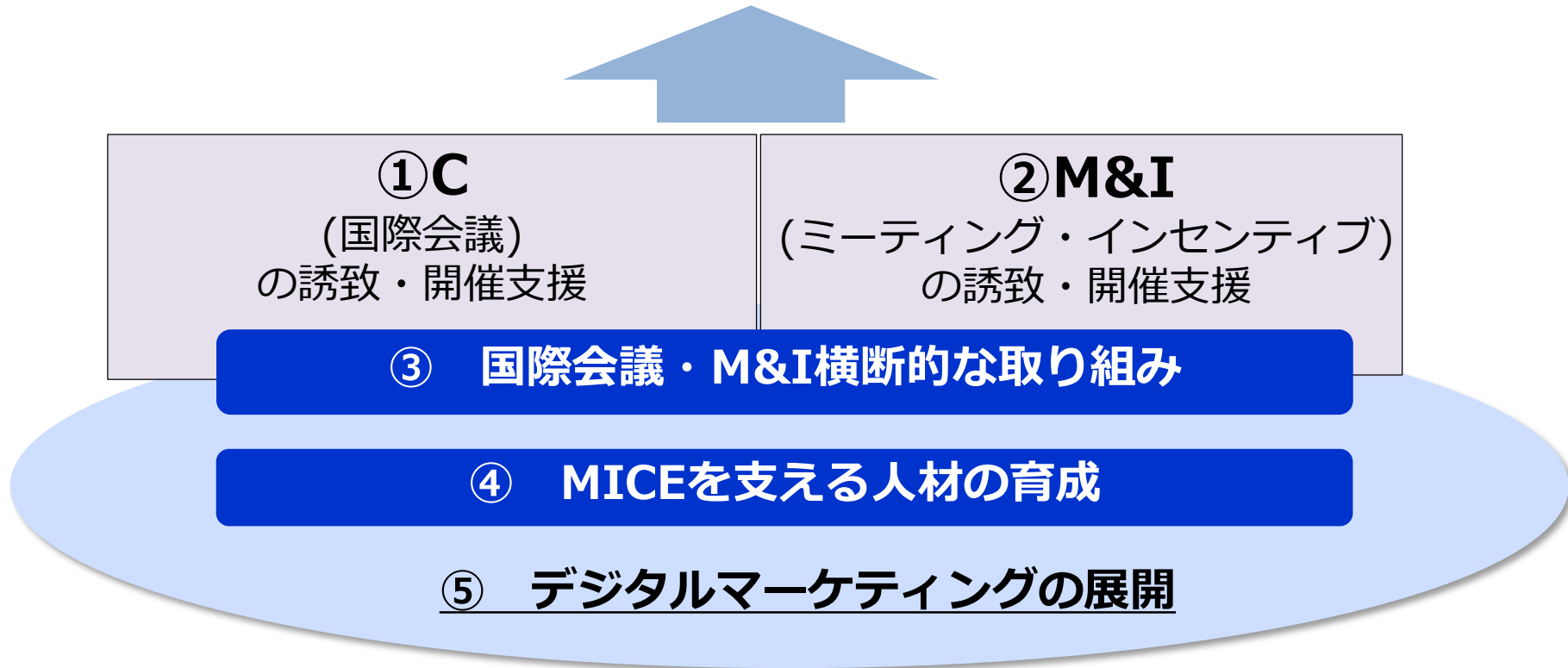
日本再興戦略 –JAPAN is BACK– 2013年6月14日 閣議決定

海外から日本に対し、多くの人や優れた知見、投資を呼び込み、
2030年にはアジアNo.1の国際会議開催国として不動の地位を築く

MICE国際競争力強化委員会提言 2018年7月策定

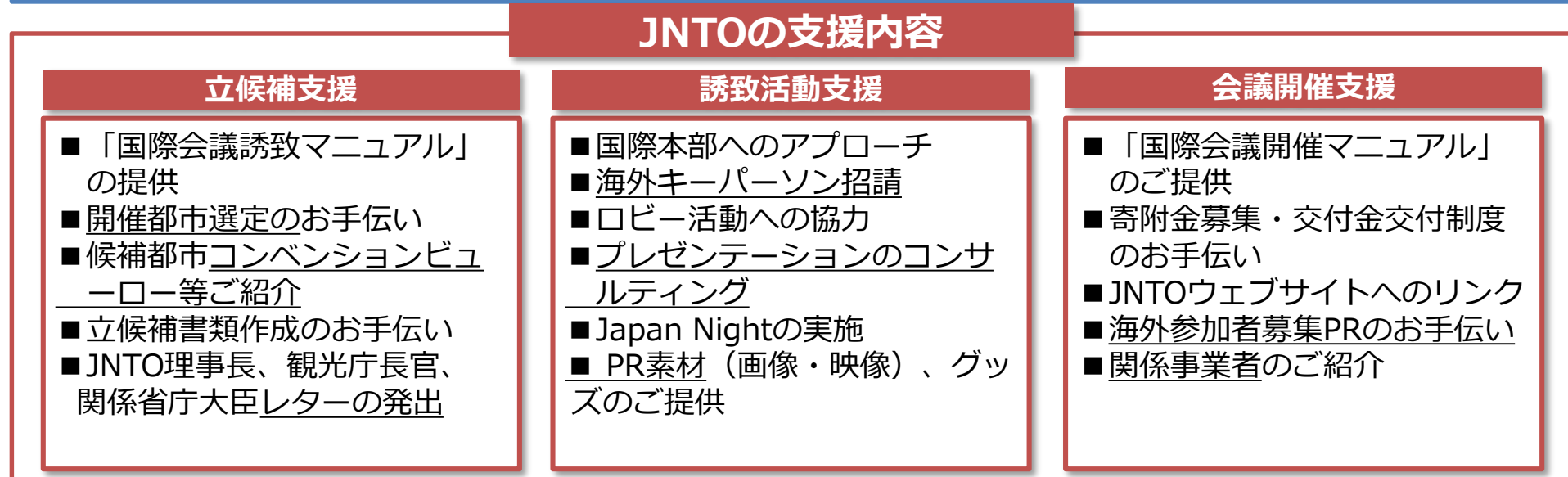
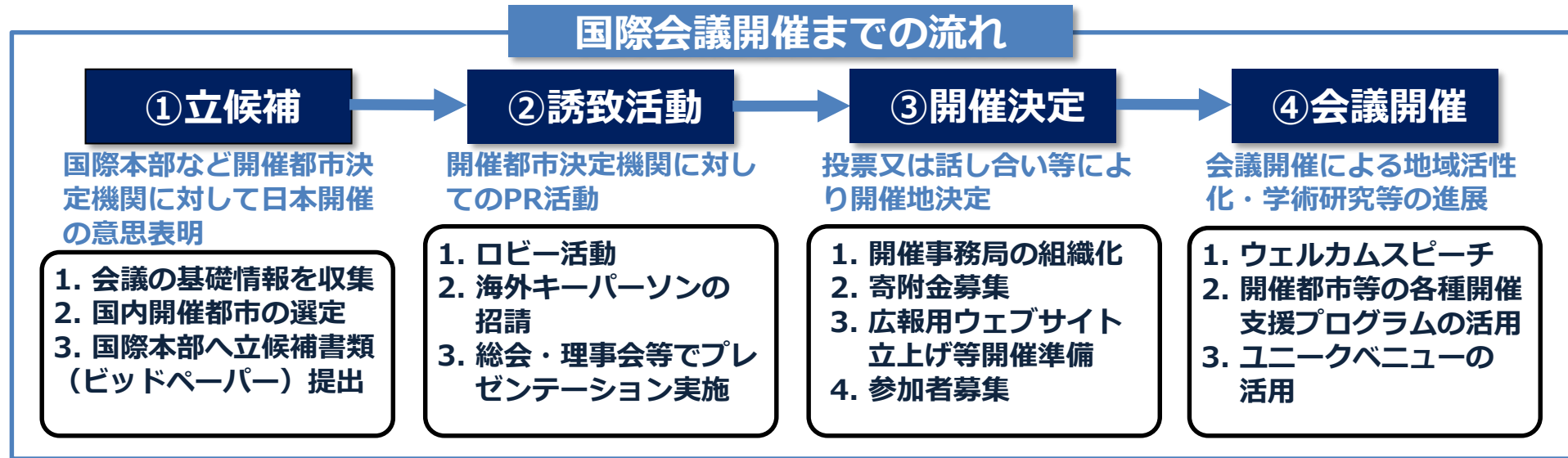
官民挙げて目指すべきMICE全体目標

2030年 MICE関連訪日外国人消費相当額 **8,000億円**
(2020年 MICE関連訪日外国人消費相当額 **3,000億円**)



5つの事業区分間の連携による総合的な誘致策の展開により、日本へのMICE誘致を推進

(1) 国際会議誘致・開催支援



国際会議等MICEを戦略的に誘致するため、産業界や学術分野において国内外に対し発言力やネットワークを有する方々を日本の「MICEアンバサダー」として委嘱。

MICEアンバサダーの活動

- ・ 日本への国際会議等の誘致・開催に向けた促進活動
- ・ 日本国内における国際会議開催の意義についての普及啓発活動
- ・ 会議開催地としての日本の魅力を海外に向けて発信する広報活動



チーム・ジャパンでの誘致活動支援

JNTOの
支援メニュー



コンベンションビューローの
支援メニュー

<JNTOによる国際会議誘致活動支援メニュー>

- ・ 立候補書類（ビッド）の作成支援
- ・ プレゼンテーションスキルアップ支援
- ・ プレゼンテーション資料作成支援
- ・ 開催地決定権のあるキーパーソン招請支援
- ・ 日本ブースの出展支援、ジャパンナイトの開催支援

<JNTOによるアンバサダー・ネットワーク形成支援>

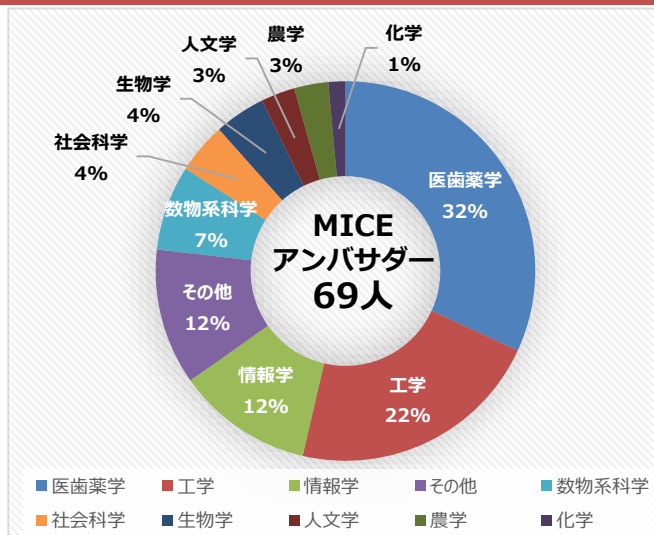
- ・ 「アンバサダーの集い」の開催



2020年度
「アンバサダーの集い」

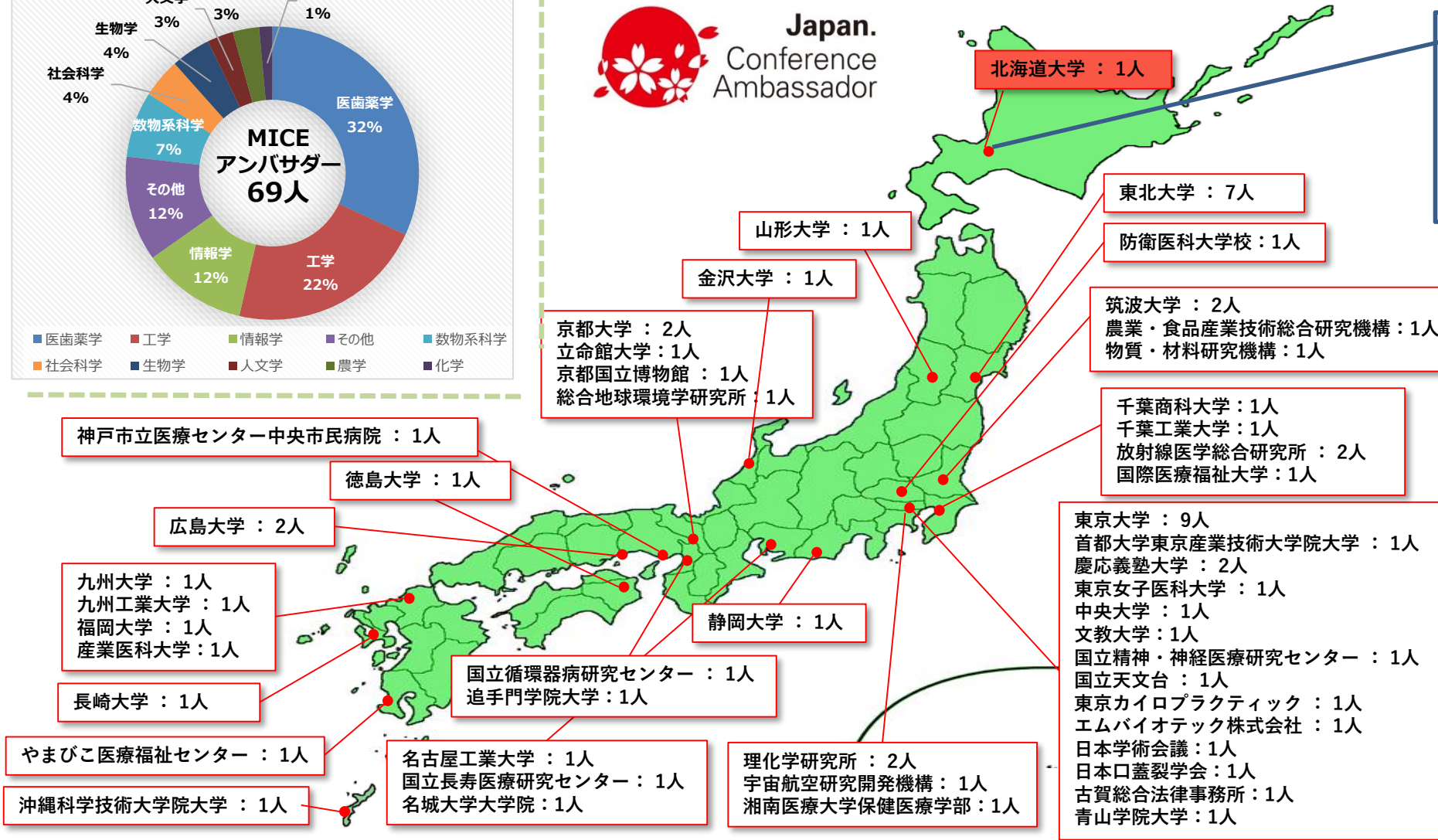


MICEアンバサダーの所属先・分野（2021年4月現在）



2018年度上半期～
北海道大学名誉教授
今井 一郎 先生
(※北海道初のアン
バサダー任命)

地域からのアン
バサダーご推薦
をよろしくお願
いいたします



※順不同

国際会議海外キーパーソン招請

《2020年度実績なしのため、2019年度実績》

開催地選定に際し、国際本部のキーパーソンを個別に招請し、候補地の現地視察をサポート。国内主催者との面談の機会を設けることで、国際本部の意向と条件を確認。チーム・ジャパンとしてのサポート体制をPR。

オンライン Meet Japan 2020

初オンライン
実施

名称	オンライン Meet Japan 2020
目的	国際会議の会議開催地決定に権限を持つ、または影響力を持つ主催団体等のキーパーソンに対し、国内の各都市・地域の魅力やインフラ情報、支援サービスについての情報提供を行うとともに会議開催条件を入手することにより、将来的に日本での国際会議開催を促進する。
内容	<ul style="list-style-type: none">・バイヤー向けセミナーの実施・バイヤー向けバーチャル都市視察（仙台、横浜、大阪、福岡）・国内コンベンションビューロー担当者とのオンライン商談会
日程	2021年1月26日～2月4日
参加者	バイヤー18名、セラー10団体



(2) M & I の誘致・開催支援

《2020年度実績なしのため、2019年度実績》

訪日インセンティブ旅行の誘致・開催実績

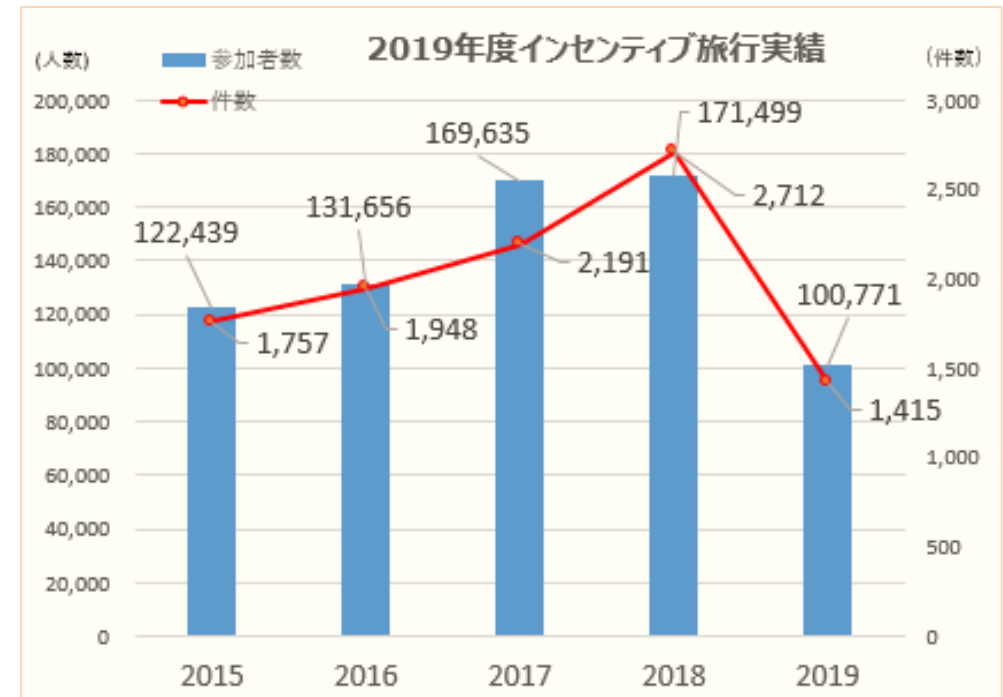
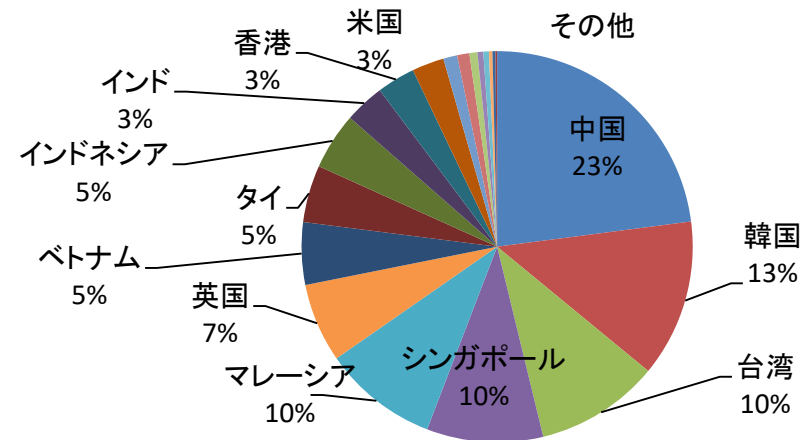
(JNTO海外事務所調べ)

2019年度実績

件数： 1,415件(前年度比：-48%)
 人数： 100,771人(前年度比：-41%)

人数順位

1	中国	23,117人(前年度比：-55%)
2	韓国	13,116人(前年度比：-72%)
3	台湾	10,335人(前年度比：-62%)
4	シンガポール	9,692人(前年度比：-21%)
5	マレーシア	9,575人(前年度比：+24%)
6	英国	6,580人(前年度比：+789%)
7	ベトナム	5,194人(前年度比：+144%)
8	タイ	4,768人(前年度比：+19%)
9	インドネシア	4,741人(前年度比：+62%)
10	インド	3,330人(前年度比：+56%)



- 海外の国際会議等主催者やインセンティブ旅行関係者を対象としたセミナーを海外各地で開催し、MICE開催地としての日本の魅力をアピール。
- 各セミナーの後に商談会も開催。

開催時期：2019年度

対象：インセンティブ旅行主催企業・企画旅行会社

開催地：インドネシア（ジャカルタ）、マレーシア（クアラルンプール）、台湾（台北・台中）、韓国（ソウル）、シンガポール、ベトナム（ホーチミン）、インド（ムンバイ）フィリピン（マニラ）、中国（北京）

概要：インセンティブツアー取扱旅行会社（及び企業）を対象に、日本各地の魅力や支援サービス、サプライヤーのサービスを紹介するセミナーや商談会を実施。有望なインセンティブ旅行案件の獲得を図る。



M&I事例の収集 : JAPAN Best Incentive Travel Awards

名称	JAPAN Best Incentive Travel Awards 2020
目的	訪日インセンティブ旅行を表彰し、新たな訪日インセンティブ旅行市場の新規開発・活性化を図る。
対象	2019年4月1日～2020年3月31日（出発日）までに実施された100人泊以上の訪日インセンティブ旅行
応募資格	全世界の旅行会社やミーティングプランナー等、または日本側関係者（訪問都市・コンベンションビューロー・ホテル等施設）
募集期間	2020年7月15日～9月16日までオンラインで募集
応募件数	83件
表彰案件	<p>受賞案件：4件</p> <p>《大賞》 teamtravel international GmbH（ドイツ） 「VME Retail Safari and the Beauty of Japan」</p> <p>《企画賞》 H.I.S International Travel Pte Ltd（シンガポール） 「2019 Incentive Trip to Okinawa, Japan」</p> <p>《貢献賞》 JTB Germany GmbH（ドイツ）「Japan Incentive Tour」</p>
表彰基準（抜粋）	<ul style="list-style-type: none"> ・顧客企業から評価された点 ・旅程に工夫が見られた点 ・地域の住民との交流や経済効果等地域へ貢献した点
表彰	表彰状・トロフィー・副賞を授与



日本のMICEブランドの策定 (2015年4月)

日本でのMICE開催を実現するために海外の主催者等に対する広報活動を強化するとともに、日本のMICE関係者とのオールジャパン体制の構築を目指す。

ブランド名

Meetings & Events

タグライン

New ideas start here

ブランドロゴ



Japan. Meetings & Events
New ideas start here

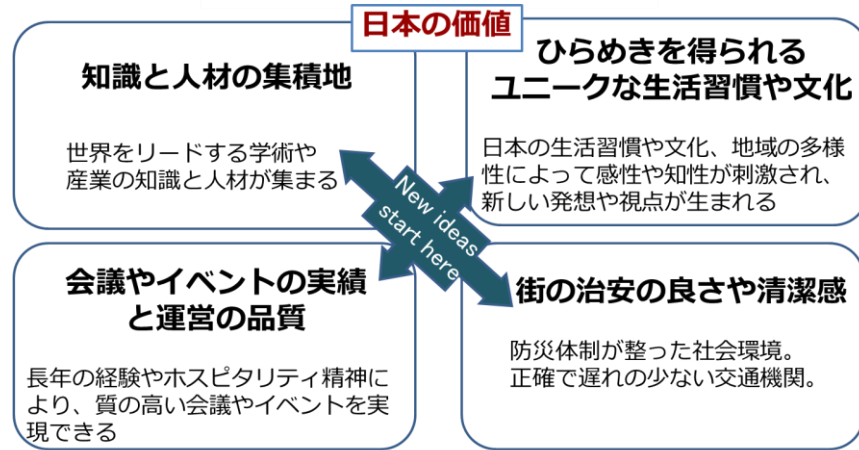
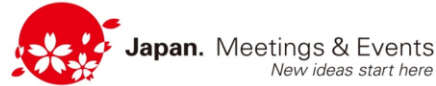
日本のMICEが目指す姿

日本の感性と知性が、ビジネスを未来へ動かす

目的 「4つの価値」をベースにしたブランドコンセプトの理解・浸透

・ブランドコンセプトを根幹とした横断的な取り組みを行い、あらゆるMICE関連事業に対しブランドコンセプトを反映させる有機的な連携を働きかけ、国内外における日本のMICEブランドの**認知・深化・定着**を目指す。

ブランドコンセプト



ターゲットへの訴求

主催者（海外・国内）

国内ステークホルダー

事業の内容

- ◆ 国内外における広告展開
 - ・ GDNなどの運用型広告
 - ・ 欧米ビジネス媒体への広告
 - ・ MICEプランナー向け業界誌広告
 - ・ 国内学会誌・ビジネス誌への広告



BBC



日経ビジネス



MPI会報誌

4つの価値に基づいた施策

- ◆ MICE国際関連団体との連携
- ◆ 取材・撮影によるMICEコンテンツ素材の収集
- ◆ Japan Best Incentive Travel Awards
- ◆ ブランド認知度調査
- ◆ 国際会議誘致・開催貢献賞

施策を効果的にターゲットに訴求

招請事業MeetJapan MICEセミナー



- ・見本市やセミナー等での商談
- ・招請事業

会議開催地選定

海外見本市IMEX Frankfurt



- ・見本市での広報活動
- ・ネットワーキングイベント
- ・広告展開

開催地決定

会議開催 & 参加

デジタルを通じて
あらゆる層へのアプローチが可能
オンライン&オフライン事業を
組み合わせ、相乗効果を図る



開催地検討

開催経験の共有

プレスリリース

- ・決定のプレスリリース
- ・開催地の広報活動

- ・催事スポンサー等
- ・開催時情報発信

- ・実績リリース
- ・表彰/アワード
- ・講演等



国際会議主催者セミナー



インセンティブアワード



Case Studyの活用

MICE開催時の様子を画像・動画・参加者の声等を通じて情報発信し、新規需要の喚起につなげる。主催者・参加者自身の情報発信網も活用。

早く、広く情報発信

- ・日本におけるMICE開催の意義や、JNTOの支援活動について情報発信
- ・都市や国内MICE事業者の方々の取り組みを集約・発信
- ・開催事例や検証、バックデータの紹介

facebook

LinkedIn

Facebook
「JNTO - 国際会議誘致・開催支援」

- ・アカウントURL：
<https://www.facebook.com/japanconvention/>



LinkedIn
「JNTO - 国際会議誘致・開催支援」

- ・アカウントURL：
<https://www.linkedin.com/company/japan-convention-bureau/>



※LinkedInは、日・英で1つのアカウントのみ。
日本語・英語の投稿を、それぞれの言語ユーザーに出し分ける形で運営。

MICE競争力に関するコンテンツ充実

- 国内都市の学術・産業集積の調査分析等を行い、日本の都市がMICE主催者等にアピールすべき強みや特徴を明確化
- 海外競合都市の戦略や強みを分析し、資料として紹介

主催者向け国内都市情報発信（国内外）

国内の16都市にオンラインでヒアリングを実施

#4 TOKYO
定量データの分析結果

東京圏の強化した産業 (学業平均) 1.0

学業 2.9

情報通信 1.6

教育 1.1

臨床系学分野の論文 被引用件数 (累計1,495,448件)

42%

633,922件

全国に占める新規事業所数の割合 (2014年~2016年)

73%

グローバル金融センター ランキング

アジア1位 世界3位

過去に開催された代表的な国際会議

International Water Association 2018 (参加者: 9,000人)

SIGGRAPH Asia 2018 (参加者: 2,000人)

学術集積

東京大学をはじめ、世界的権威や先進的な研究に取り組む研究者、国際的な知名度・プレゼンスの高い入学・研究機関が集積。

近年では、オートファジーやニューロノミクス等の分野でノーベル賞受賞者を生んでおり、先端医療・物理学等の基礎研究の分野でも世界的な実績を生んでいる。

産業集積

日本橋エリアには製菓分野をはじめとした先端産業(再生医療等)の世界的な研究開発拠点を集積。

世界を代表するデジタル企業が立地。IoTやAI等の先端技術を開発している。

国際会議開催実績

学術集積

医療・情報、オートファジー等の先端分野で世界に貢献

最先端の学術分野で、東京大学、国立がん研究センター、理研等の最先端研究機関が集積。近年では、オートファジーやニューロノミクス等の分野でノーベル賞受賞者を生んでおり、先端医療・物理学等の基礎研究の分野でも世界的な実績を生んでいる。

再生医療

学術・グローバル企業・スタートアップ企業による世界的な研究開発

日本橋エリアには製菓分野をはじめとした先端産業(再生医療等)の世界的な研究開発拠点を集積。

物理学・宇宙科学

未知なる世界への挑戦

東京圏における論文引用件数では物理学・宇宙科学の分野も世界的に高い実績を挙げている。

主催者・スポンサーの声

学術集積

最先端の学術分野で、東京大学、国立がん研究センター、理研等の最先端研究機関が集積。近年では、オートファジーやニューロノミクス等の分野でノーベル賞受賞者を生んでおり、先端医療・物理学等の基礎研究の分野でも世界的な実績を生んでいる。

産業集積

日本橋エリアには製菓分野をはじめとした先端産業(再生医療等)の世界的な研究開発拠点を集積。

国際会議開催実績

産業・学術面の先進的な取組

海外都市の戦略情報提供（日本語）

国際会議の誘致施策・産業振興戦略等の集約

海外都市調査のアウトプットの確認

報告書 4~5枚バージョン

シドニーはオーストラリアの経済都市としてアジア大洋州の中でも国際会議誘致の高い実績を持つ。主要施設であるICCシドニーは、2016年より規模を拡張し、大規模国際会議に注力

- シドニー市および、ニューサウスウェールズ州が管轄するシドニー都市圏が対象。
- 南半球屈指の経済都市であり、アジア大洋州とのアクセス性が高い。ターナーバーに立地するICCシドニーはアジア大洋州内の中でも最大規模の複合MICE施設となっており、2016年12月開業後、大規模国際会議の誘致に成功している。
- コンベンションビューローであるBESydneyは、国外でのマーケティング・プロモーション活動を積極的に実施する他、IT・科学・医療・工学・金融分野等シドニー市が注力する分野の国際会議誘致に積極的となっている。

都市概要

シドニー市 | シドニー都市圏

人口：531.2万人※
GRP：36.6兆円※

国際アクセシビリティ

- 国際線就航都市57都市
- 国際線利用者1,560万人

国際会議関連

- 主な国際会議施設（最大収容人数）
ICC Sydney (主要ホール8,000席；展示面積：32,567㎡)
- ICCA件数・参加者数 (14-18')
397件、17.5万人

国際会議の誘致・開催に係る主な取組

- シドニー市のコンベンションビューローは、Business Events Sydney、ニューサウスウェールズ州ではDestination New South Walesが広域連携を軸に観光・MICE政策を管轄。
- BESydneyは、シドニー市が戦略として掲げるIT・科学・医療・工学・金融等の分野で112名の研究者等をグローバルサダーに任命。
- 市を挙げて立地企業、施設等のSDGs対応能力強化に取り組むほか、ICCシドニーが環境に配慮した取組を展開。

過去の主要な国際会議

名称	開催年	参加者数	産業分野
SIBOS'18	2018	7,500	金融
World Congress of Accountants	2018	6,000	経営
IBA	2017	3,918	法律
International Conference for Machine Learning	2017	2,357	IT
OpenStack Summit	2017	2,300	IT

- ・ ICCシドニーは2016年12月に開業（旧施設の大規模拡張・整備を実施）。南半球最大のMICE施設として、大型国際会議を積極的に誘致・開催。

BBCの活用 “How is Japan's business event industry adapting to Covid-19”

将来的なMICEのデスティネーションとしての日本の強みを情報発信

コロナウィルス感染症との共存の時代に於ける企業会議、インセンティブ、国際会議等の現状及び今後の世界的動向、業界のトレンド等主催者が関心を持つ情報

1. 日本の「新しい生活様式」への取り組み
2. その他ケーススタディー、ファクト・データ、各都市のMICEの魅力等

2019年度 広告バナー



- ダウンロード可能なPDFドキュメント
- JNTOのMICEウェブサイトに掲載
- BBC.com上に簡単なサマリーページを掲載

北海道へのMICE誘致に関する取組事例

JNTOのMICEウェブサイト（日本語/英語）にて北海道を紹介 [継続]

The screenshot shows the JNTO website's 'Global MICE Cities' page for Sapporo. The header includes the JNTO logo and navigation links for 'WHY JAPAN', 'PLAN YOUR EVENT', 'JAPAN INCENTIVE', and 'About Us'. The main heading is 'Global MICE Cities' with a globe icon. Below it is a section for 'Sapporo' featuring a night view of the city and a detailed description of its natural environment, industries, and international events.

Global MICE Cities

Sapporo

Set in a rich natural environment, this is one of Japan's most thriving regions for agriculture, veterinary sciences and geosciences. In addition to these three industries, Sapporo boasts a pool of scientific and technical knowledge in fields such as medicine, environment, arctic research, media arts, and so on. The former host of Winter Olympics, Sapporo is also known as a premier winter destination, hosting various international events such as Sapporo Snow Festival.

With a population of almost 2 million, Sapporo is Japan's fifth largest metropolis, over 60% of which is covered by greenery and 6 meters of snow for the period of 132 days a year. Sapporo has been a longtime frontrunner of local production-local consumption, with an overwhelming food sufficiency rate of 208%, which is five times more of Japan's average, giving the destination its reputation and brand value as Japan's leading gourmet city, not to mention its beer. Home to some of Japan's top universities & research institutions such as Hokkaido University, Sapporo offers an advanced environment for international meetings and business events, with a large selection of state-of-the-art venues such as Sapporo Convention Center. In recent years, Sapporo and its prefecture Hokkaido has developed into one of the world's premier winter sports destinations, attracting a large number of visitors from all over the world.

(日) <https://mice.jnto.go.jp/>

(英) <https://www.japanmeetings.org/>

The screenshot shows the 'Case Studies' page on the JNTO website. It features a navigation bar with 'Japanese Art Islands and Traditional Festivals' and 'Exclusive Experiences'. The main heading is 'Case Studies' with a red icon. Below it is a section for 'Large Group Tour of Hokkaido' featuring a night view of a baseball stadium and a detailed description of the tour's purpose, duration, and activities.

Case Studies

Large Group Tour of Hokkaido

To improve company unity and fellowship through a trip for all employees and to reward employee excellence and business award winners.

Destination: Hokkaido
Duration: 5 nights, 6 days
Delegates: approximately 6,500

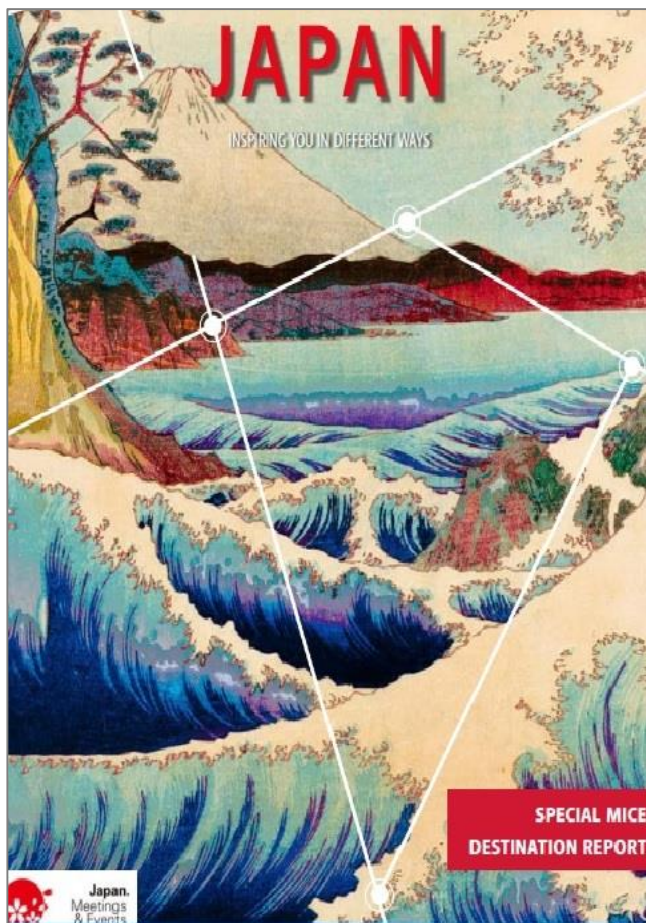
All the employees had a satisfying experience. They could participate in social activities while traveling with colleagues. The program helped to increase company spirit. For a long time, the company has promoted activities to give incentives to employees for excellence. Content and schedules were adjusted so that company executives would also be able to join. In particular, watching a baseball game at Sapporo Dome was interesting. And it was a wonderful touch to be able to send a message to top performers in the company for display on the Dome screen.

Over a 2-week period, participants were divided into multiple groups, with each group staying 6 days in Hokkaido. The delegates were able to personalize their program with time visiting famous sights in Sapporo, and also enjoyed live sporting events and team building activities.

On the 2nd day, there was a special lecture and an awards ceremony in Tokachi. Arrangements were made for accommodations for tour members.

海外への情報発信事例

欧州の主要MICE業界紙「Headquarters」において、都市の学術や産業の強みを活かして、誘致・開催された国際会議のケーススタディーとして、2019年に札幌で行われた国際隕石学会を紹介 [新規]



Headquarters

VOICES OF EXPERIENCE: HEAR FROM THE PEOPLE WHO KNOW!

HQ wanted to know attendees' impressions of Japan as a destination for international association conferences and business events, so we interviewed two event participants: **Benjamin Lok**, IEEE Virtual Reality steering committee member, who attended the IEEE Virtual Reality 2019 Conference in Osaka; and **Meenakshi Wadhwa**, president of the Meteorological Society who was in Sapporo for the Annual Meeting of the Meteorological Society, also in 2019.

Interview questions:

1. Do you think holding the conference in Japan was scientifically meaningful and beneficial for the researchers who attended?
2. Did you hear any positive feedback about the city or Japan from delegates?
3. What was the most impressive highlight at your conference, compared to previous experiences?
4. Safety, security and flexibility are becoming top priorities for conference organisers and will remain so even after COVID-19. How do you evaluate Japan on these points?
5. What are the benefits of face-to-face meetings that can't be replaced?



Since ancient times, Osaka has established itself as a major commercial hub, acting as a platform for domestic and international trade and cultural exchange. Today, the city remains the largest in western Japan, and several companies, universities and research institutes continue to focus on sectors such as engineering, robotics and new energies. Something that Benjamin Lok explained when proving IEEE's preference...

conference. Many stated that IEEE VR 2019 was the best conference ever held due to its quality, the leadership, the activities and food arranged by the conference and the quality of the interactions with other attendees.

3. One of the evening activities was a night market filled with restaurants and shopping reserved for conference attendees. This was a special dinner entertainment booked exclusively at the **Karumon Market**, one of the largest and most famous markets in the Kansai region. We were able to try a large variety of fantastic cuisines and shop for unique gifts and items. The whole experience was additionally memorable as we were able to explore this space with many colleagues and friends.

2. Yes. Every attendee I spoke with, including many who have attended over a dozen IEEE VR conferences, were very positive about Osaka and Japan as the best venue for the



Sit in a rich environment, Sapporo is the 5th largest metropolis in Japan, considered the cultural, economic and political centre of Hokkaido. This 'arctic giant' is one of the most attractive spots in the country for areas such as geosciences, environment and medicine, and has developed a vast body of work in collaborative research and education. Factors that played in the decision to hold the Annual Meeting of the Meteorological Society, Meenakshi Wadhwa pointed out...

1. Sapporo was a wonderful location for the annual meeting of the Meteorological Society (MetSoc 2019) in 2019. The meeting was held on the beautiful campus of Hokkaido University, which is considered a centre of excellence for research in meteoritics and planetary science. In particular, many of the attendees enjoyed tours of the state-of-the-art research laboratories at Hokkaido University.

2. Yes. The attendees provided very positive feedback. The meeting was very well organised. The venue on the campus of Hokkaido University was conveniently located so that it was within easy walking distance of many hotels. There were a lot of very good restaurants nearby as well.

3. What made this meeting especially memorable for all attendees was that JAXA's Hayabusa2 mission completed a sampling event from the surface of asteroid Ryugu during the week that the meeting was held. Also, since 2019 was the 50th anniversary of the discovery of the first collection (a total of nine distinct stones) of Antarctic meteorites during a Japanese Antarctic expedition, the hosts organised a small meteorite exhibit during the meeting and a special lecture by Professor Kazuyuki Shiraiishi of the National Institute of Polar Research to commemorate this significant event. The lecture was delivered in English for the international membership of our

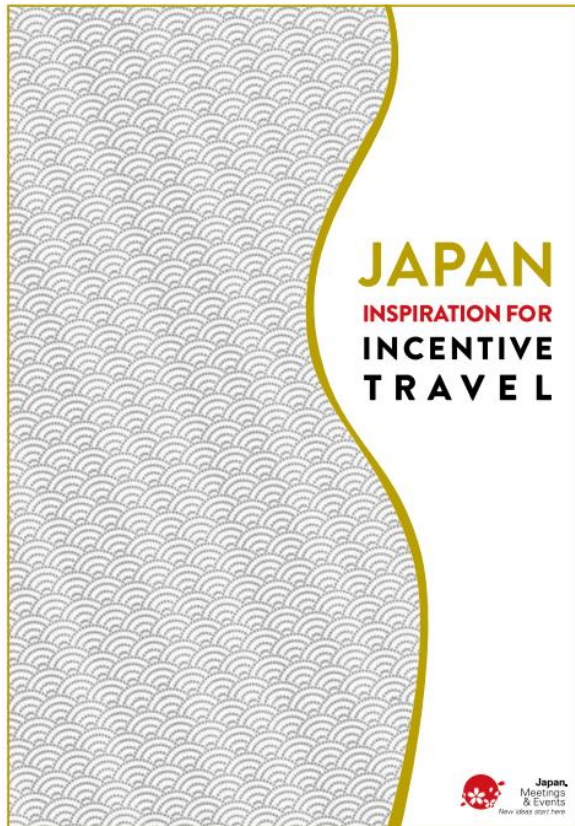
4. Attendees felt very safe and secure travelling and staying in Japan during the meeting. While most sessions were held during the daytime, there were some evening events, but our society members attending the meeting felt comfortable walking to and from these events at all times.

5. In recent months, we have seen many innovative technologies being applied towards holding virtual meetings and conferences. Nevertheless, it will be difficult to fully replace the benefits of in-person meetings with virtual ones. Informal conversations between meeting sessions often spark new ideas and new collaborations. The Meteorological Society will be carefully monitoring the situation with COVID-19 before planning in-person meetings again because the health and safety of our attendees is a primary concern. It is quite possible that we may not be able to hold in-person meetings until a vaccine is widely available.






冊子『Japan: Inspiration for Incentive Travel』（英語）での北海道紹介 [新規]



Useful Information

Geography
 Located in East Asia, Japan is an archipelago comprising the four main islands of Hokkaido, Honshu, Shikoku, and Kyushu, with over 6,800 islands in total. Its size is often compared to Germany, and it is slightly smaller than the state of California. Japan's topography is about 70% mountainous, with residential areas concentrated around coastal plains. The country stretches from north to south forming different natural landscapes, which has led each region to develop their own culture and history, local products, and cuisine.

Climate
 Most of Japan occupies a temperate zone, and the four seasons each have their own appeal. The northernmost island of Hokkaido has a short yet pleasant summer while Okinawa, in the south, has a subtropical climate. In the main island, spring is cool and breezy with generally sunny skies. Cherry blossoms bloom starting in the south and gradually moving north, between March and May. The rainy season takes place from late June until mid-July. Summer is often hot and humid, featuring firework displays and street festivals. Autumn starts in Hokkaido and travels south, with dazzling autumn leaves blanketing the country between late October and early December. Winter is crisp and cool, with clear weather and snow on the mountains. Throughout Japan, you will find variety and beauty in every season.

Time Zone
 Japan is nine hours ahead of GMT, with all the country within the same time zone. There is no daylight saving time.

Visa
 Travelers from 68 countries and regions can stay in Japan up to 90 days without a visa. The list can be found on: https://www.mofa.go.jp/_info/vis/visa/short/ovisa.html

Currency
 The Japanese yen is used throughout the country and you can exchange foreign currency at the airports and major banks and major hotels.

Credit cards, pre-paid IC cards and cashless payments are becoming popularly accepted in major hotels, stores and restaurants nationwide. ATMs at post offices and convenience stores allow money withdrawal for some international cards.

Tax
 Japan has an 8% tax on consumable goods and 10% tax on general items. Visitors to Japan are eligible for tax exemption on purchases over 5,000 yen for a variety of consumer goods.

Tipping
 Tipping is not practiced in Japan. If your group is visiting bars, cafes, or restaurants, taking taxis or staying in hotels, regardless of how high standard customer service is, there is simply no need to tip.

Electricity
 Japan uses two flat parallel prong plugs. The voltage used throughout Japan is uniformly 100 volts, A.C.

Connectivity
 Wireless hotspots at major cities in Japan provide Internet access for free upon registration. Also, the rental of portable Wi-Fi routers is available at international airports.

Smoking
 While still allowed indoors in some restaurants, bars, and hotels, smoking is not allowed outside of designated areas. This rule is strictly enforced—especially in the country's main cities—and can result in a fine.

Route 2 Hokkaido

Day 1 Sapporo
 Countless snow sculptures dazzle the eyes at the Sapporo Snow Festival, a must-see winter celebration. Nighttime illumination enhances the festivities as does Hokkaido sushi, a treasure trove of seafood. Another savory delight is a cooking class for your group to make and eat sushi.

Day 2 Niseko
 A popular destination for adventure and luxury travelers alike, Niseko boasts the reputation of being one of the world's finest powder skiing areas. Reward your group with a visit to hot springs with stunning views of Mt. Yatai.

Day 3 Niseko
 Have your group enjoy team-building in the snow, with activities like snowshoeing, snowmobiling, and so on. On a day excursion, you can also visit Shikotsu-Toya National Park and venture for an unforgettable ice walk on the frozen surface of Lake Shikotsu.

※2021年度に多言語翻訳予定

北海道へのMICE誘致に関する支援事例

① Adventure Travel World Summit (ATWS)・・・オンライン開催

日程：2021年9～10月

都市：北海道

参加予定者数：800人（うち外国人750人）

JNTOの誘致支援内容：

BIDペーパー作成サポート、最終プレゼンテーションサポート、
スウェーデン大会でのブース出展、JNTO理事長名の支援レター発出、
ATWS会長、事務局長との意見交換会の設定

② 国際電波科学連合（URSI）総会

日程：2023年8月

都市：札幌

参加予定者数：1,200人（うち外国人500人）

JNTOの誘致支援内容：

国内候補都市選定、小林一哉先生（中央大学）アンバサダー就任、
BIDペーパー作成、2017年モントリオール総会でのジャパンプース運営、
関係省庁等からの支援レター発出調整（内閣府、総務省、経産省、国交省、文科省、観光庁、日本学術会議）
JNTO理事長名の支援レター発出

JNTOをご活用ください。

お問い合わせ : convention@jnto.go.jp

WEBサイト : <https://mice.jnto.go.jp>



Japan. Meetings & Events

New ideas start here